

令和5年度

国民健康保険事業 特別会計決算

国民健康保険は、病気やけがをしたときに安心して医療を受けられるように、みんなでお金（国保税）を出し合って医療費を負担する制度で、県と市が保険者となって運営しています。令和5年度の市の国民健康保険事業特別会計の決算状況をお知らせします。

決算状況

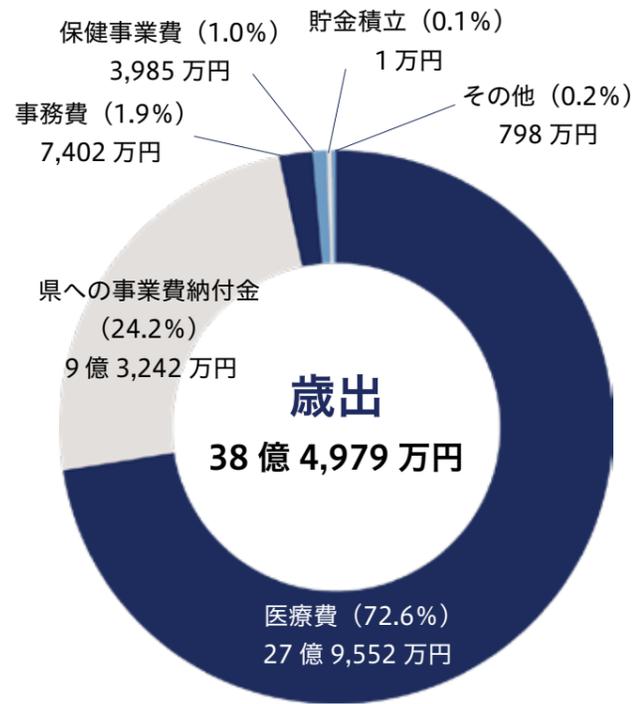
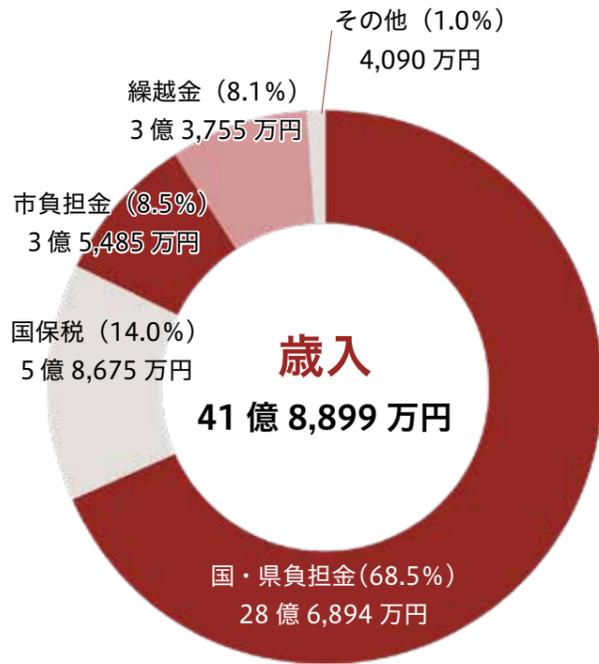
令和5年度の国民健康保険事業特別会計の決算は、歳入(入ってきたお金)が41億8,899万円、歳出(使ったお金)が38億4,979万円でした。

歳入のうち、最も大きいものは国・県からの負担金で28億6,894万円です。主に医療費に充てられ、全体の68.5%を占めています。国民健康保険税は5億8,675万円で、県に事業費納付金を支払うための大切な財源となっています。

歳出の主なものは医療費の27億9,552万円で、全体の72.6%を占めています。1人当たりの医療費は年々増加傾向にあります。

県に支払う事業費納付金は9億3,242万円でした。

歳入・歳出状況



加入状況

令和6年3月末現在の被保険者数は6,186人で、市の総人口に占める割合は20.74%。被保険者数は毎年減少しています。

問合せ 市市民課国保年金係 (☎22-2111 内線1022)

市民健診の案内をお送りしています

1人当たりの医療費は年々増加傾向で、生活習慣病が増加しています。病気の予防や重症化を防ぐためにも、ぜひこの機会に受診しましょう！



まちなか復興のアイデア、具体化進む

市では、人吉市まちなかランドデザイン推進アクションプラン策定を進めるため、まちなか(中心市街地地区、青井地区、麓・老神地区)のハード整備後に商いやイベントを展開したいと考える市民や事業者の皆さんにアイデアを持ち寄ってもらい、実現を目指す担い手ワークショップを開催しました。

1月15日に開催した第1段階では、まちの担い手になりたい市民や事業者の皆さんが集まり、やりたいことの実施エリアや自分の役割、イメージ図などをアイデアシートに記入。

2月12・13日には第2段階を開催し、第1段階で出されたアイデアを基に、今後の社会実験やその後の事業化に向けて議論しました。

<取りまとめた企画の例>

- ・中川原公園で、テントサウナやバーベキュー、SUPやラフティングなど人吉の自然や食材を生かした稼げるコンテンツを作る。
- ・マルシェ開催の実現に向けて、企画や運営についての勉強会を開催する。
- ・球磨川沿いにある旅館のテラス活用の可能性を探りたい。
- ・クイズなどの仕掛けや物語性を交えたスタンプラリーを実施し、まちなかの回遊性を高める。

問合せ 市復興支援課まちづくり推進係 (☎22-2111 内線3115)



▶第1段階では参加者全員が1人ずつマイクを握ってアイデアを発表し、参加者間で共有



◀具体的な計画づくりが進んだ第2段階。3回のワークショップに延べ90人ほどが参加

SL人吉のライトアップを始めました

アクションプラン素案では、球磨川の恵みやまちの資源を巡り体感できる10の拠点とそれぞれの将来イメージを定め、復興まちづくりを進めています。

その実現に向けた社会実験の第1弾として、拠点の1つである人吉駅前エリアでSL人吉のライトアップを始めました。2月12日に点灯式を行い、松岡市長と集まった皆さんのカウントダウンで照明がつくと、漆黒のSL人吉が浮かび上がりました。

照明は朝日、夕焼け、宵の口(日が暮れて間もないころ)をイメージした色が順に点灯します。

SL人吉ライトアップ

点灯期間 ~3月31日(月) ※予定

点灯時間 毎日午後6~10時

問合せ 市交通政策課交通政策係 (☎22-2111 内線3112)

